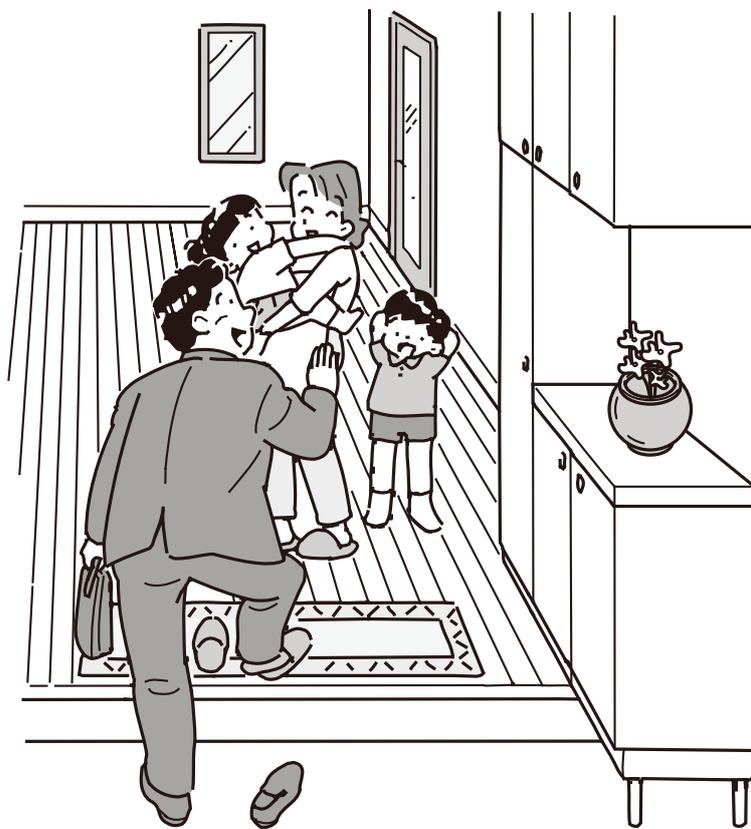


リビング建材

建具・玄関収納

取扱い説明書



ご使用にあたって

この説明書では、ご入居者さまが商品を安全に正しくご使用いただくためのお願い事項、お手入れの方法などの重要な内容を記載しております。またオーナーさま・管理業者さま向けに、各調整方法、商品保証内容や修理依頼先を記載しております。ご入居者さまにお渡しいただくとともに、管理用としてオーナーさまと管理業者さまにて、大切に保存してください。

目次

■重要なお知らせ	1
■警告用語の種類と意味	2
■特に注意していただきたいこと	2~5
■お手入れ方法	6
■調整方法について	7~12
■アフターメンテナンスについて	13
■商品保証について	14

重要なお知らせ

ご使用の前に

安全のため、必ずお守りください。「リビング建材商品」のご使用およびお手入れを行う場合は、必ずこの取扱い説明書に従ってください。

もしこの取扱い説明書に従わず、乱用又は誤用によるケガおよび損害が発生した場合は、当社に責任はないものといたします。

- 1.この取扱い説明書の他にも、あらゆる危険が想定されます。
従って、「リビング建材商品」のご使用およびお手入れを行う際は、この取扱い説明書の記載事項に限らず、安全対策に関して十分な配慮が必要です。
- 2.この取扱い説明書には、LIXIL が取扱う製品全般を記載しています。
そのため、物件により、お部屋には取付けられていない製品が記載されている場合がありますのでご了承ください。
- 3.この取扱い説明書は著作権を有し、その権利は留保されています。

お願い

- この「取扱い説明書」に掲載されていない調整については、無理に調整しようとする
扉の落下・破損・ケガなどのおそれがありますので行わないでください。
ご使用の際、異常を感じたり、部品が破損した場合は、オーナーさまもしくは管理業者
さまにご連絡いただき、修理をご依頼ください。

警告用語の種類と意味

- この「取扱い説明書」では、危険度(又は事故の大きさ)によって、次の3段階に分類しています。以下の用語が持つ意味を理解し、本書の内容(指示)に従ってください。

用語	意味
	取扱いを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。
	取扱いを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。
お願い	特に注意を促したり強調したい情報で、指示に従わないと機器の損傷・故障などにつながる場合があります。

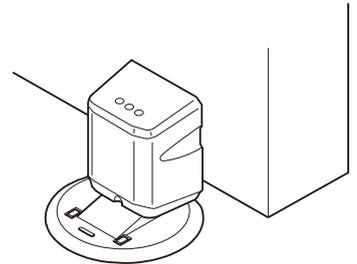
特に注意していただきたいこと

※安全のため、必ずお守りください。

ドアストッパー(マグネットタイプ)

警告

- ドアストッパーから30cm以上離れて操作および使用してください。
心臓ペースメーカーを装着されている方は、接近して操作されると誤作動をまねくおそれがあります。
その他医用電子機器類に関しても影響を与える場合があります。各機器メーカー又は販売者にご確認ください。

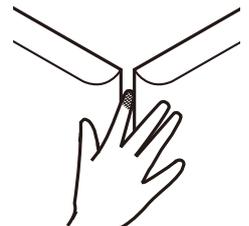


ドアストッパー

クローゼット折れ戸

警告

- 扉を折りたたむときに、扉と扉の間にすき間が生じ、このすき間に指を挟んだ状態で扉を閉めると大きなケガにつながるおそれがあります。
乳幼児が開閉を行わないよう、又、乳幼児が近くにいる時の扉の開閉には十分ご注意ください。
- 又、温湿度環境によって扉にソリが生じ、すき間が大きくなる可能性もあります。ご注意ください。

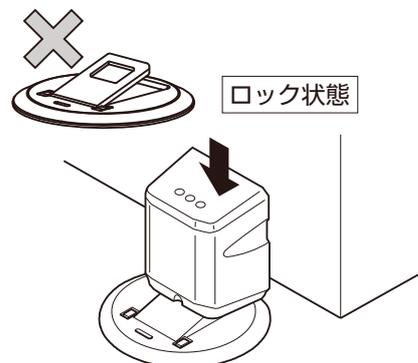


特に注意していただきたいこと

室内ドア(ドアストッパー(マグネットタイプ))

⚠ 注意

- 床付け部品のフラップが立ち上がったままになっている場合は、必ず手で倒してください。
思わぬケガをするおそれがあります。
- 扉を開放しておくときは、ドアストッパーの本体カバーを下げてロック状態にし、扉を固定してください。
扉が強風で強く閉まり思わぬケガをするおそれがあります。



共通

お願い

- 暖房器具などから発生する熱風・熱気が直接当たらないようにしてください。
ソリや変色などの原因になります。
- 製品に水・油・殺虫剤・除光液・化粧品・整髪料・毛染め剤・脱色剤・うがい薬・漂白剤・除菌クリーナー・紅茶、その他の酸性/アルカリ性の液体などがかった場合は、すぐにふき取ってください。
放置すると、表面がふくれたり、シミ・変色が発生したり臭いが残ったりするおそれがあります。
- 水にぬれた場合は、速やかにふき取るようにしてください。
長時間ぬれたまま放置すると、ひび割れ・ソリ・変色などの原因になります。



- 刃物など先のとがったものや硬いものでひっかかないでください。
キズが付きます。

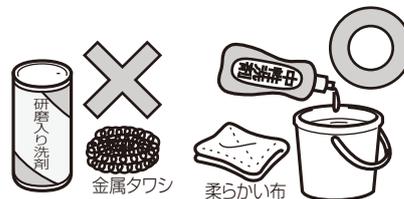
- 扉にテープやシールなどを張らないでください。
表面が傷むおそれがあります。



- ガラスを使用している製品につきましては物が当たったり、人がぶつくと割れてケガをするおそれがあります。
特にお子さまにはご注意ください。



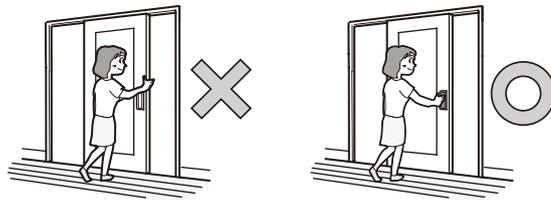
- ガラスはキズつけないように取扱ってください。
- 金属タワシ・研磨剤入り洗剤などはガラスをキズつける原因になります。
ひどい汚れ又は落ちにくい汚れは、薄めた中性洗剤に浸した柔らかい布をかたく絞ってふき取ってください。又、乾いた柔らかい布でからぶきをしてください。



室内建具

お願い

- ドアの調整で丁番固定ねじをゆるめた場合は調整後必ず締付け、ガタツキがないことを確認してください。
本体脱落の原因になるおそれがあります。
- 扉の開閉にあたっては、丁番側のすき間に手を置かないでください。
指を挟んでケガのおそれがあります。特にお子さまにはご注意ください。
- 扉の開閉にあたっては、必ず把手を持って操作してください。
把手から手を離したり、扉の先端に手を置くと、扉が急に閉まったとき、扉と枠の間で指を挟み、思わぬケガをするおそれがあります。特にお子さまにはご注意ください。



- 扉の下に物を挟まないようにしてください。
扉が持ち上がり、本体脱落の原因になるおそれがあります。
- 扉を開け放した状態にするときは、ドアストッパーなどをお使いください。
強い風などで、勢いよく閉まることがあり、ぶつかったり、ガラス割れなどで思わぬケガをするおそれがあります。

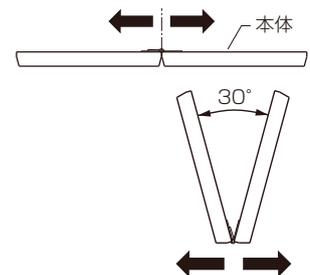
クローゼット折れ戸

お願い

本体を開閉する際は、下記いずれかの方法で操作してください。

- 本体をフラットのまま移動させてください。
- 本体が折れた状態で移動させる場合は、30°の角度で本体が一時固定するようになっていますので、この状態で移動させてください。

※角度が30°未満の状態では移動させないでください。この場合、動きがギクシャクしたり下部のローラーがレールから外れたりする場合があります。



特に注意していただきたいこと

玄関収納

お願い

- 汚れは、きれいな乾いた柔らかい布でから拭きしてください。
ひどい汚れまたは落ちにくい汚れは、中性洗剤を薄めて硬く絞ったぞうきんで拭き取ってください。

絶対に使用しないでください

酸性・アルカリ性の洗剤、溶剤(シンナー・ベンジン)など

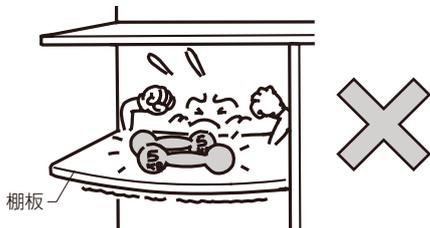
玄関収納・各種収納

お願い

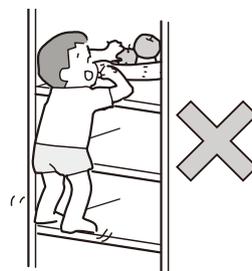
- 玄関収納カウンターの耐荷重は10kgです。この重量をこえる物はのせないでください。
製品のゆがみ、破損事故の原因になります。
- 丁番などの可動部には手を入れないでください。
挟まれて、ケガをするおそれがあります。



- 各製品の耐荷重をこえる収納物をのせないでください。耐荷重は均等荷重です。
製品が破損・脱落し、ケガをするおそれがあります。



- 棚板に足を掛けたり、よじのぼったりしないでください。
製品が破損・脱落し、ケガをするおそれがあります。



■玄関収納棚板取付け可能枚数

取付け可能枚数以上は取付けしないでください。
キャビネット落下の原因になります。

キャビネット種類	キャビネット高さ	可動棚(取付け可能枚数)	固定棚(取付け可能枚数)
ウォール	320	1	—
	321～544	2	—
	545～960	3	—
ベース	704	4	—
	705～800	4	—
	801～1184	7	—
トール	1216	6	1
	1217～1760	9	1
	1761～2080	11	1
	2081～2240	12	1

■玄関収納耐荷重

部位	W幅	耐荷重	備考
カウンター	—	10kg	支持キャビネット1台あたりの耐荷重
可動棚板	400	4kg	靴2足
	740	7.5kg	靴3～4足
固定棚板	—	10kg	W幅に関わらず一定
地板	—	20kg	W幅に関わらず一定

※耐荷重とは安全に物を載せるための重量であり、たわみが出ない基準ではありません。

お手入れ方法

建具・玄関収納の表面など（木目・ガラス・樹脂部品など）

- 日常のお手入れは、乾いた柔らかい布又は化学ぞうきんでからぶきしてください。
- ひどい汚れ又は落ちにくい汚れは、中性洗剤を薄めてかたく絞ったぞうきんでふき取ってください。汚れがひどい場合でも、酸性・アルカリ性の洗剤、溶剤（シンナー・ベンジン）などは絶対に使用しないでください。
- ゴミがたまらないよう、レールの溝はこまめにお掃除をしてください。扉レールの溝にゴミがたまりますと、扉の滑らかな走行のさまたげとなり、故障の原因となります。掃除機などでこまめに掃除してください。



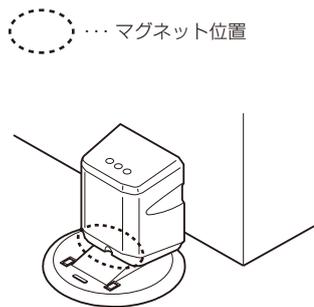
把手・引手

- 日常のお手入れは、乾いた柔らかい布又は化学ぞうきんでからぶきしてください。
 - ひどい汚れ又は落ちにくい汚れは、中性洗剤を薄めてかたく絞ったぞうきんでふき取ってください。汚れがひどい場合でも、酸性・アルカリ性の洗剤、溶剤（シンナー・ベンジン）などは絶対使用しないでください。表面の塗料が落ちるおそれがあります。
 - シリンダー錠、デッドロック錠のキーの抜き差しや回転操作が悪くなった場合は、鉛筆（柔らかい芯）の粉や黒鉛粉またはシリンダー錠専用潤滑剤を使用してください。鉛筆を使用する場合は、キーの切込み面を鉛筆でなぞったあと、キーで抜き差しを数回行ってください。
- ※ 鍵穴には絶対に油を注さないでください。注入直後は動きが良くても、ホコリを吸着し、かえって動きを悪くします。



マグネットストッパー

- マグネット部に異物が付着している場合は取り除いてください。磁力が低下して、ストッパーが作動しないことがあります。

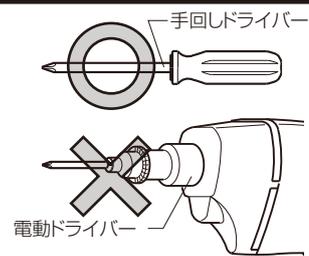


調整方法について

●ご使用の間、納まりに関して不都合が生じた場合は、以下の要領で調整を行ってください。

お願い

- この「取扱い説明書」に掲載されていない調整については、無理に調整しようとすると扉の落下・破損・ケガなどのおそれがありますので行わないでください。ご使用の際、異常を感じたり部品が破損した場合は、オーナーさまもしくは管理業者さまにご連絡いただき、修理をご依頼ください。
- 建付け調整は必ず、手回しドライバーを使用してください。電動ドライバーを使用した場合は、ねじ頭が壊れるおそれがあります。

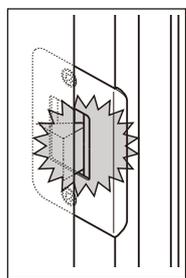
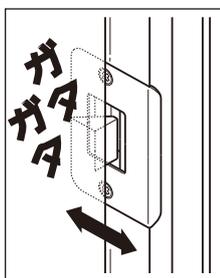


■調整方法を予告なしに変更する場合があります。ご了承ください。

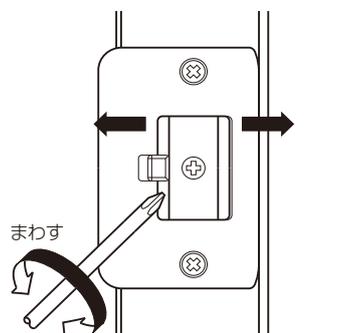
室内ドア／ストライクによる建付け調整

ラッチがストライクの中でガタついたり、ラッチがかかりにくい場合はプラスドライバーでストライクの調整ねじを回して調整してください。

- ラッチがストライクの中でガタつく
- ラッチがかからない



ストライク調整ねじ
可能調整範囲±3mm



室内ドア／丁番による建付け調整

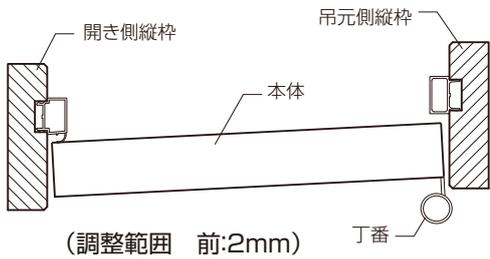
丁番の固定ねじ、調整ねじは回し過ぎると外れたり、破損する場合がありますので、ご注意ください。

不具合例	調整方法
<p>■ドアの上部が枠に当たる。</p> <p>(調整範囲 下:3mm)</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①本体側下丁番のキャップを外す。 ②上下調整ねじを左に回しドアを下げて位置を決める。 ③キャップをはめる。

不具合例	調整方法
<p>■ドアの開き側が枠に当たる。</p> <p>(調整範囲 吊元側:1.5mm)</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①固定ねじをゆるめる。 ②左右調整ねじを右に回してドアを吊元側に移動し位置を決める。 ③固定ねじを締める。

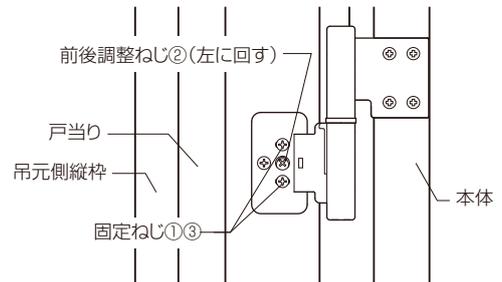
不具合例

■開き側の枠が前に出ている。



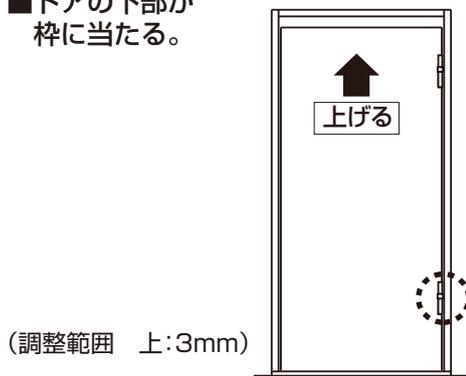
調整方法

- ①固定ねじをゆるめる。
- ②前後調整ねじを左に回してドアを前に移動させる。
- ③固定ねじを締める。



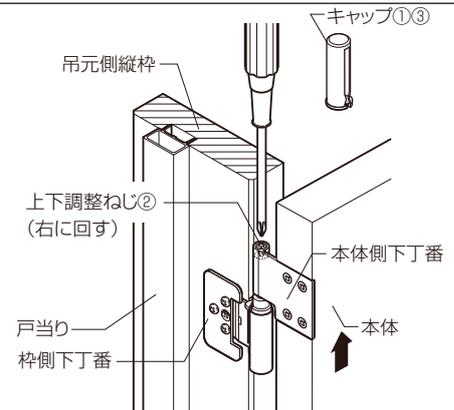
不具合例

■ドアの下部が
枠に当たる。



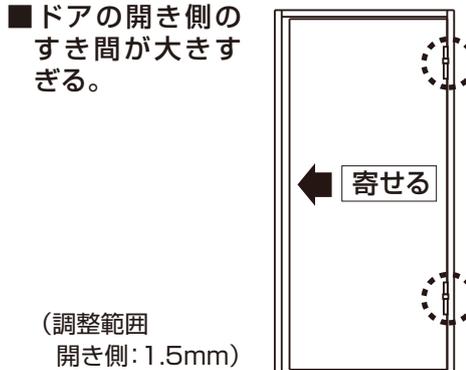
調整方法

- ①本体側下丁番のキャップを外す。
- ②上下調整ねじを右に回し
ドアを上げて位置を決める。
- ③キャップをはめる。



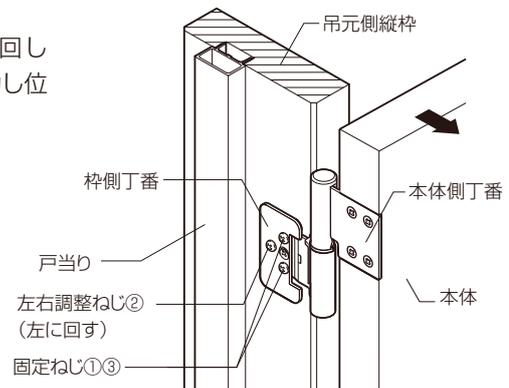
不具合例

■ドアの開き側の
すき間が大きすぎる。



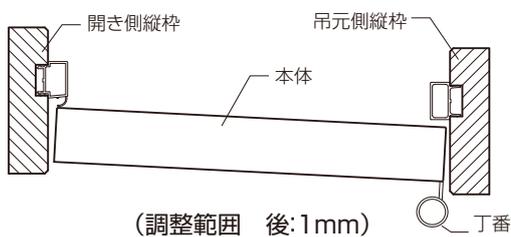
調整方法

- ①固定ねじをゆるめる。
- ②左右調整ねじを左に回し
てドアを開き側に移動し
位置を決める。
- ③固定ねじを締める。



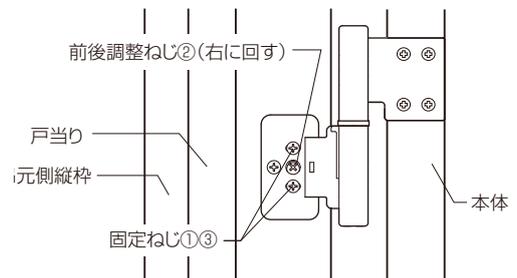
不具合例

■吊元側の枠が前に出ている。



調整方法

- ①固定ねじをゆるめる。
- ②前後調整ねじを右に回してドアを後に移動させる。
- ③固定ねじを締める。

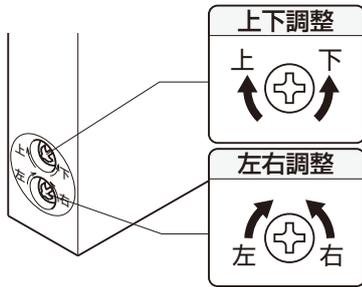


調整方法について

Vレール引戸／戸車による建付け調整

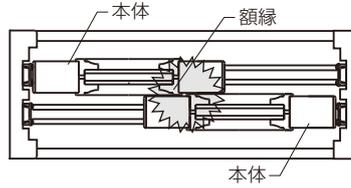
■上下調整(調整幅+4mm、-2mm)

- 本体両下端の上下調整ねじを右に回すと本体が上がり、左に回すと本体が下がります。

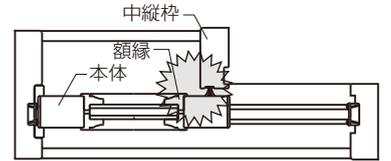


※左右調整する場合は、本体同士がぶつからないようにご注意ください。又、本体と中縦枠モヘアが接触しすぎて、開閉が重くならないよう調整してください。

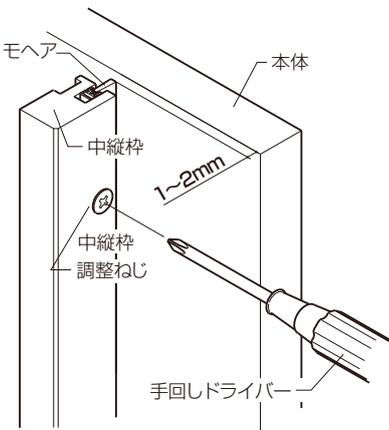
●引違い



●片引き

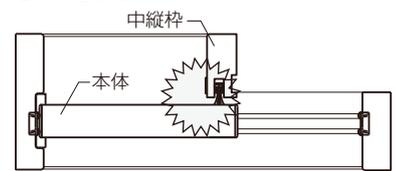


■中縦枠の調整(調整幅+6mm)



※本体とモヘアのすき間が1~2mm程度になるように調整してください。

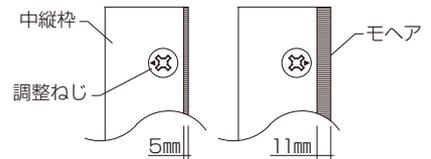
●片引き



本体と中縦枠モヘアが接触しすぎると、開閉が重くなります。

出荷時には輸送時のモヘアの折れ曲がりを防ぐため、モヘアを最も引っ込めた状態で出荷しています。

- ①中縦枠のモヘア調整ねじを手回しドライバーで回してモヘアの出寸法を調整してください。
- ②調整後、本体とモヘアの先端が1~2mmのすき間が確保されているか確認してください。

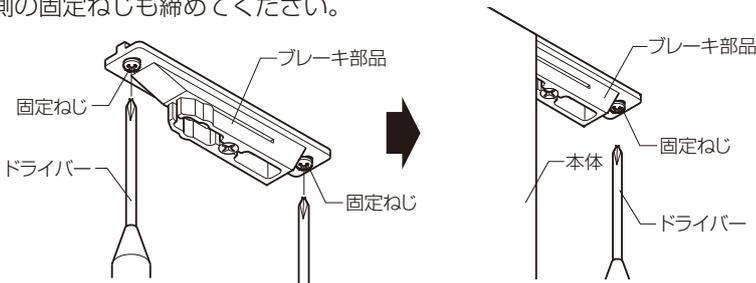


調整ねじの▲マークがモヘア側に向いている時がモヘアが最も出ている状態で、逆に向いている時が最も引っ込んでいる状態です。

Vレール引戸／ブレーキ調整

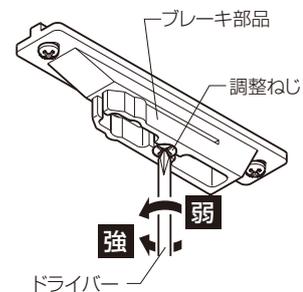
■ブレーキの左右調整

- 本体の左右調整時、ブレーキの左右調整も行ってください。上レール内側に付いているブレーキ部品の固定ねじをゆるめ、図のように本体を途中まで閉じてください。このまま片側の固定ねじを締め、本体を開けて反対側の固定ねじも締めてください。



お願い

- 調整ねじを弱方向に回す場合、ブレーキの表面からねじ頭の出寸法が1.5mm以内になるように調整してください。回しすぎるとねじがぬけます。



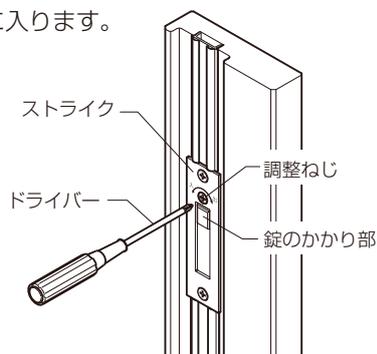
- 本体がブレーキ部品に当たる時は、戸車の上下調整ねじを回して本体を下げてください。



Vレール引戸／引戸錠のかかり調整

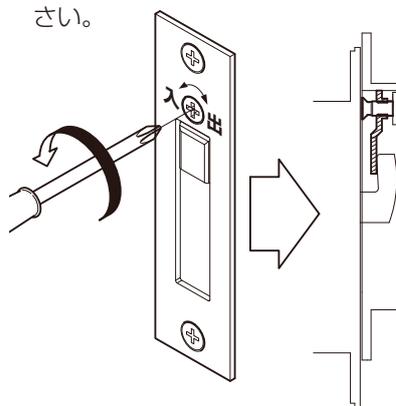
■引戸錠のかかり調整

- ストライクの調整ねじを右に回すと錠のかかり部が出て、左に回すと錠のかかり部が奥に入ります。



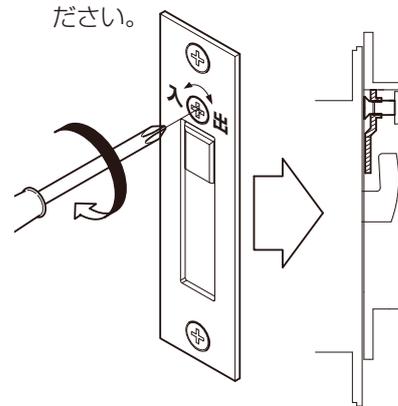
【本体と枠のすき間が大きい場合】

- 調整ねじを左に回して調整してください。



【錠がかかりにくい場合】

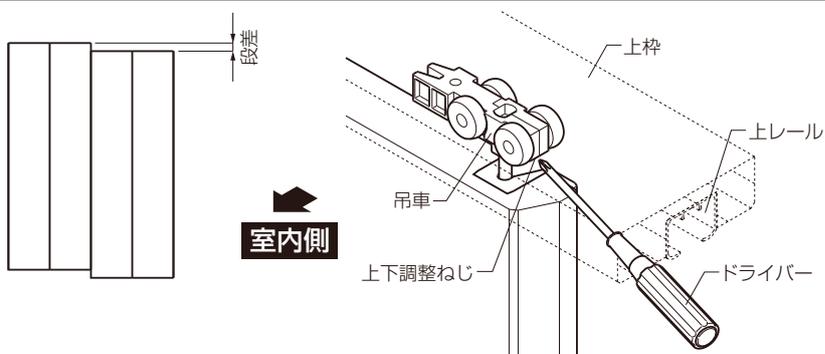
- 調整ねじを右に回して調整してください。



クローゼット折れ戸／吊車による建付け調整

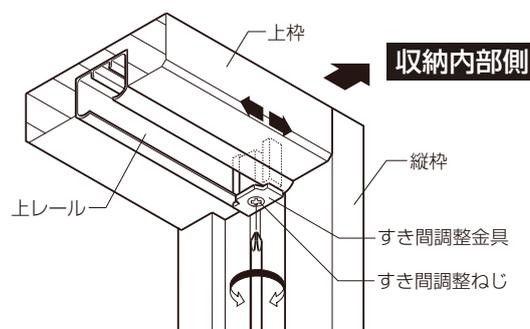
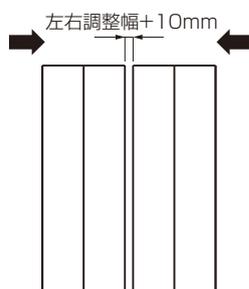
■段違い(上・下)の調整

- 本体の取付け後、上下の目地が合っていない場合、左右の吊車の上下調整ねじをドライバーで回し調整してください。(調整範囲 上：5mm)



■すき間(左・右)の調整(フリータイプの場合)

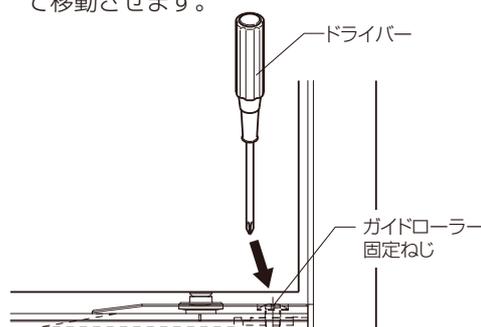
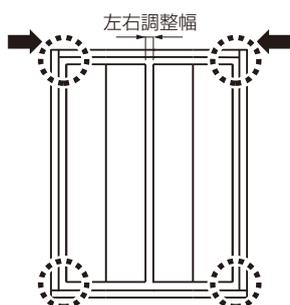
- 本体間のすき間が大きい場合、上レールの端部(左右)に付いているすき間調整金具で調整できます。すき間調整ねじをドライバーで回し、調整してください。すき間調整ねじを右に回すと、すき間が小さくなります。
注) すき間調整金具は、上レールの左右に付いています(W07は、片側のみ)ので、左右均等に調整してください。



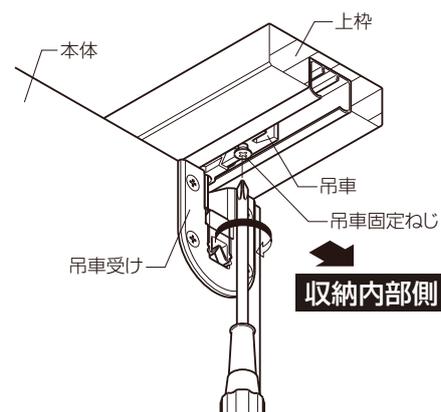
■すき間(左・右)の調整(ピボットタイプの場合)

- 本体間のすき間が大きい場合、吊車およびガイドローラー固定金具(本体部品セット同梱)で左右調整を行います。

- 本体をずらしてガイドローラー固定金具の固定ねじをプラスドライバーでゆるめて移動させます。



- 吊車固定ねじをドライバーでゆるめて移動させます。



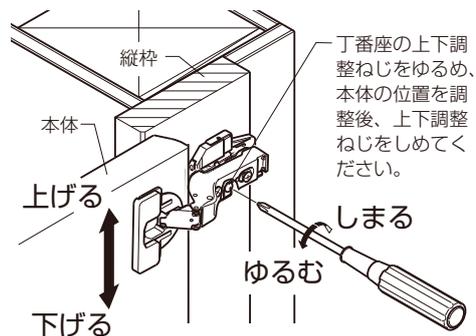
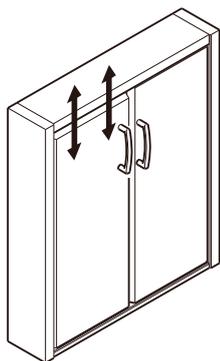
調整方法について

クローゼット両開き戸／スライド丁番による建付け調整

■上下調整

【調整範囲】

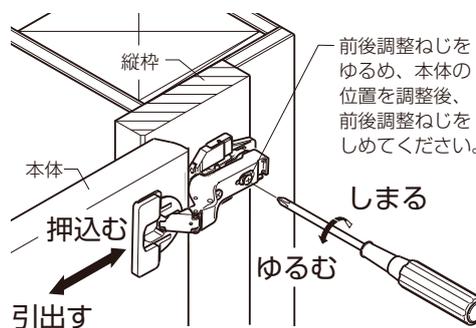
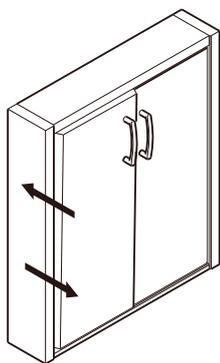
上方向	1.5mm
下方向	1.5mm



■前後調整

【調整範囲】

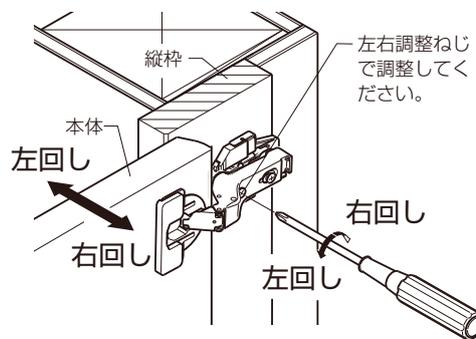
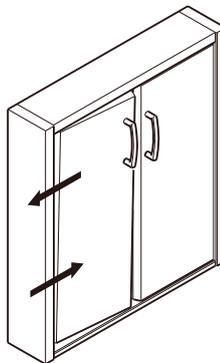
前方向	4mm
後方向	0mm



■左右調整

【調整範囲】

丁番側	1mm
戸先側	2mm

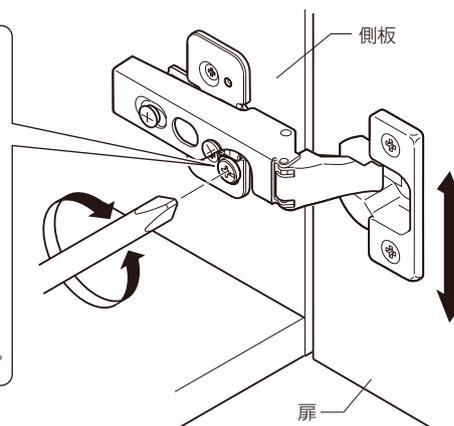
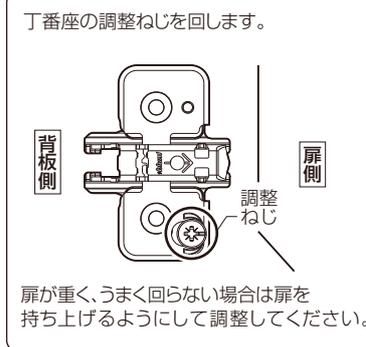
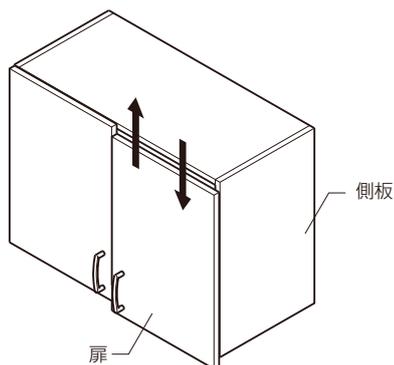


玄関収納／スライド丁番による建付け調整

■上下調整

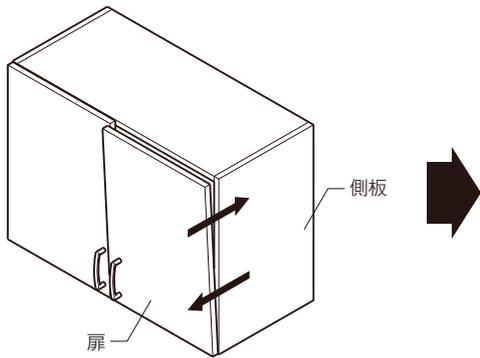
(調整範囲：± 2mm)

※調整範囲を超えてねじ込まないでください。

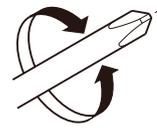


■前後調整

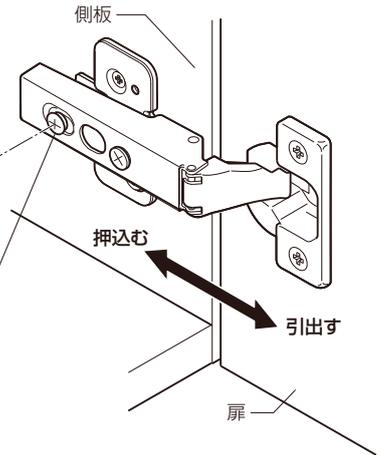
(調整範囲：4mm (3mm 前方、1mm 後方))



※調整後、調整ねじを必ず締直してください。

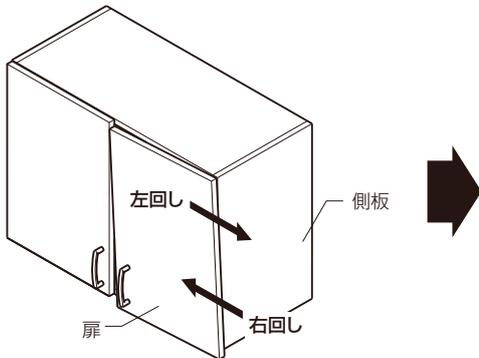


丁番カップの奥側ねじをゆるめて、位置調整後本締めします。

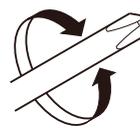


■左右調整

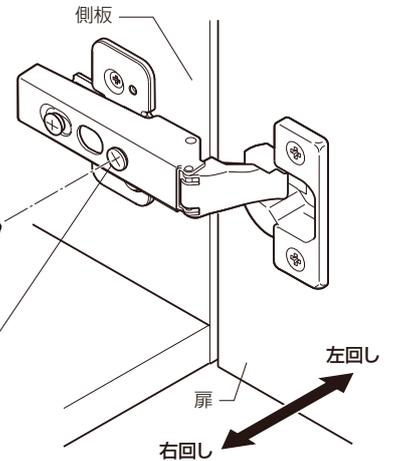
(調整範囲：± 2mm)



※調整範囲を超えてねじ込まないでください。



丁番カップの手前側ねじを回すと連動して扉が動きます。ねじを締直す必要はありません。



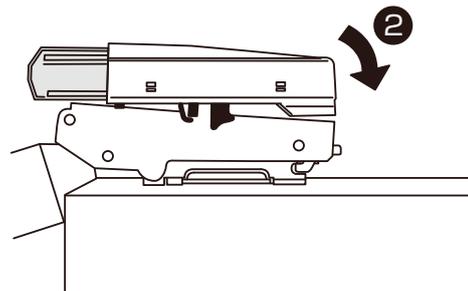
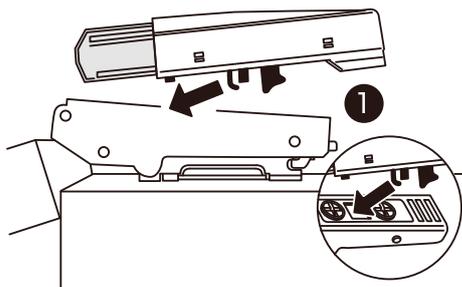
※図は右吊元を示します。左吊元は左右が逆になります。

玄関収納 / ソフトモーション取付け方法

■ソフトモーションの取付け

ソフトモーションが外れた場合は、以下の手順で取付けてください。

- ① 丁番の口穴に突起を差し込みます。
- ② ソフトモーションの後ろ側をパチンと音がするまで差し込みます。



お願い

- 取付けた後、扉を数回開閉し、作動に問題のないことを確認してください。

アフターメンテナンスについて

ご入居者さまへ 修理が必要なときは

使用上にて異常を感じたり、部品が壊れた場合には、オーナーさままたは管理業者さまにご連絡いただきまして修理をご依頼ください。

修理内容により、メンテナンス契約先の補修業者さまが対応される場合があります。

また原因や修理内容により、費用がオーナーさま負担となる場合もしくはご入居者さま負担となる場合がありますので、ご確認の上で修理をご依頼ください。

連絡先は賃貸契約書にてご確認ください。

オーナーさま・管理業者さまへ

保障について

保証期間中は、保証の規定にしたがって修理させていただきます。

保証期間中でも有料になる場合がありますので『**商品保証について**』の内容をよくご確認ください。

保証期間を過ぎている場合は、ご希望により有料で修理をさせていただきます。修理用部品の保障期間が過ぎている場合は、修理ができないこともあります。

修理を依頼されるときは

点検および修理を依頼される前に、各商品の『**取扱い説明書**』をもう一度ご確認の上、それでも故障が直らない場合やご不明な点がある場合は、商品をお求めの施工店、工務店、販売店又は LIXIL 修理受付センターにご連絡ください。その際、下記のことをご連絡ください。

- ①賃貸物件のご住所・オーナーさま名（または管理業者さまご担当者名）・電話番号・物件名
- ②商品名・品番
- ③建設業者からの物件引き渡し日
- ④故障又は異常の内容
- ⑤訪問ご希望日
- ⑥ LIXIL 修理受付センターにご連絡の際は、商品のご購入者様名

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

LIXIL 修理受付センター連絡先

・ LIXIL 修理受付センター ☎ 0120-413-433

点検および修理料金のしくみ

修理料金は技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料は、点検および故障個所の修理および部品交換・調整などの作業にかかる費用です。

部品代は、修理に使用した部品代です。

出張料は、修理士を派遣する場合の費用です。なお修理により交換した部品・製品は、特段のお申し出がない場合は当社にて引き取らせていただきます。

修理用部品の保有期間

この商品の修理用部品（機能を維持するために必要な部品・代替品含む）の最低保有期間は、製造終了後 10 年です。

※機器類など専用の取扱い説明書があるものは除きます。添付の取扱い説明書をご確認ください。

キッチン、洗面化粧台、室内建具などの扉・引出しなどの面材については、販売終了後 2 年としております。2 年経過後は、新シリーズの面材を供給させていただきます。ただし 2 年に満たない場合でも、面材の供給が難しい場合は、新シリーズの類似面材を供給させていただくこともありますのでご了承ください。

交換用部品について

ドライバーのみで簡単にお取替えいただける部品については、ホームページよりご注文いただけます。

リクシルパーツショップ <http://partsshop.lixil.co.jp/shop/>

掲載のない部品につきましては、お求めの取扱い店又は当社お客さま相談センター ☎ 0120-126-001 にご連絡ください。

2016 年 10 月

商品保証について

本書は、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中、商品に故障・損傷などの不具合（以下「不具合」といいます）が発生した場合には、お取扱いの施工店、工務店、販売店又は当社お客さま相談センターにご相談ください。

- 対象商品…………… リビング建材商品
- 保証期間…………… 施工者よりの引渡し日(注1)から2年間(電装部品については1年間)
注1)改修工事の場合、改修部分の工事完了の日とします。
- 保証内容…………… 取扱い説明書、本体ラベル又はその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に商品そのものに不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項に該当する場合を除き無料修理いたします。
- 免責事項…………… 保証期間内でも、次のような場合には有料修理となります。
 - ①当社の手配によらない加工、組立て、施工、管理、メンテナンスなどの不備に起因する不具合(例えば、工事中の養生不良による変色や腐食など)
 - ②表示された商品の性能をこえた性能を必要とする場所に取付けられた場合の不具合
 - ③建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合
 - ④商品又は部品の経年変化(使用に伴う消耗、摩耗など。木製品のソリ、干割れ、変色など)や経年劣化(樹脂部品の変質、変色など)又はこれらに伴うサビ、カビなどその他類似の不具合
 - ⑤自然現象や住環境に起因する結露などの不具合
 - ⑥環境が特に悪い地域又は場所での腐食および不具合(例えば、海岸地帯での塩害による腐食、浴室内などの湿潤な部位、部分的、又は全面的に野外に晒された場所。部屋内外の温度差が極端に違う部位に取付けられたもの、極端に乾湿を繰り返す部位に取付けられたもの。異常な高温・低温・多湿による不具合)
 - ⑦天災その他の不可抗力(例えば、暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、地盤沈下、落雷、火災など)により、商品の性能をこえる事態が発生した場合の不具合
 - ⑧施工当時実用化されていた技術、知識では予測することが不可能な現象又はこれが原因で生じた不具合
 - ⑨犬、猫、鳥、鼠などの小動物の害による不具合やキクイムシなどによる虫害
 - ⑩引き渡し後の使用上の操作誤り、調整不備又は適切な維持管理を行わなかったことによる不具合
 - ⑪お客さま自身の組立て、取付け、修理、改造(必要部品の取外しを含む)に起因する不具合
 - ⑫本来の使用(一般住宅用)の目的以外の用途に使用された場合の不具合
又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合
 - ⑬犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合

※保証期間経過後の修理、交換などは有料とさせていただきます。

※本書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お取扱いの施工店、工務店、販売店又は当社お客さま相談センターにお問合わせください。

株式会社 LIXIL

オーナーさま・管理業者さま用 アフターメンテナンス依頼連絡先

部品のご購入は、お客さま相談センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00 土・日・祝日 9:00～17:00(ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始等を除く)

TEL. ☎0120-126-001 FAX.03-3638-8447

修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00(祝日、年末年始、夏期休暇等を除く)

TEL. ☎0120-413-433 FAX.☎0120-413-436

<http://www.lixil.co.jp/support/>

安全に関するご注意

ご使用前に「取扱説明書」をよくご覧の上、正しくお使いください。

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

●商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行うことがありますのでご了承ください。

取説番号	MAN-642	事業所コード	FV46	2016.10.01 発行
------	---------	--------	------	---------------

